

BOOKS

茅野市の21世紀の福祉を創る会・日本地域福祉研究所(編)

福祉21 ビーナスプランの挑戦

パートナーシップのまちづくりと茅野市地域福祉計画

牧野忍

豊橋市保健予防課

地方計画策定に悩むあなたに



●A5版 304 ページ

定価：本体 3,000 円＋税
中央法規出版 (03-3379-3861)

「市民みんなで知恵を出しあって住みよい茅野市を創りたい」との強い思いを行動に移し、実践してゆくプロセスが描かれています。

このビーナスプランが生まれるプロセスのなかで、そこに関わった医師の立場での思い、福祉関係に関わる市民の思い、行政の立場での思いと苦悩が、策定プロセスの時間の経緯とあわせ、手にとるよう描かれています。読み進むうちに、♪風のなかのすばる 砂のなかの銀河…と「プロジェクトX」の音楽が頭のなかをめぐり、文字がテレビの映像のように浮かんでくる、そんな文章が綴られています。

保健の分野でも計画策定の嵐が吹き荒れ、健康増進法のもと「健康日本21」の地方計画策定に奔走している保健師も多いと思います。豊橋市においても平成14年4月に「健康とよはし推進計画」を策定し、みんなぐるみまちぐるみの健康づくりをめ

ざしてきました。さらにその推進のための市民委員会、行政の立場の委員会など開催し、茅野市の思いと同じ「みんなで知恵を出しあって…」という強い思いを胸に秘め活動を進めています。文中にある行政の立場での苦悩、戸惑いが自分たちの経験したものと同じであることに思わず苦笑してしまいました。市民と協働するプロセスが大切だからといって、皆が頭で理解できていることを実際行っている壁にぶつかることばかり。そんな苦労がよく伝わってきます。

「地域福祉」をキーワードに福祉のまちづくりとした茅野市の取り組みの

経過が丁寧に描かれ、さらに地方自治のあり方と計画策定のプロセスの大切さ、市民とのパートナーシップのあり方や課題も含めてわかりやすく書かれています。

また、市長の思いと考え方も書かれ、市民と茅野市が丸となりビーナスプランに関わり実践していることが伝わります。21世紀に向けての社会システムづくりについても解説がされ、実践書と教科書の要素をあわせもつ一冊です。

現在、先行して計画策定、市民との協働でのまちづくり活動をしている方、これから考えていこうと思っている方、どの方も是非この本を手にとってみてください。自分の傍らに置き、何度も読み返す本であると思います。

♪ヘッドライト テールライト
旅はまだ終わらない…

読んだ後、感動の余韻が残ります。